

## 高音量付属電鈴スイッチ付（HQBL-S2）を接点信号等で鳴動させる方法

高音量付属電鈴スイッチ付（HQBL-S2）を電話呼出信号（着信信号）によらないで、スイッチ等の接点信号等で鳴動させる方法を示します。

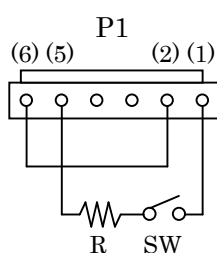
ただし、この方法は電話呼出信号と併用して使用することはできません。

**\* 危険ですので絶対に併用しないで下さい。**

スイッチ等の接点により動作させる方法は、商用電源からの電源を電話回線側（L1、L2）に供給します。従って、電話回線が接続されていますと、電話局の交換機からの電源と短絡し、交換機を破損させることがありますので、絶対に併用（L1、L2は何も接続しない）しないで下さい。

### 方法

HQBL-S2 本体のカバーを外し、プリント基板上的コネクタ（P1）に下記の結線を行います。スイッチ等（SW）が導通することにより、HQBL-S2 が鳴動します。



(2)と(6)間を接続する

(1)と(5)間に抵抗とスイッチ等を介して接続する

SW が ON（接続）している間鳴動します。

適合コネクタ

DF1-6S-2.5C（ヒロセ電機製）

### 電氣的注意

SW 部は耐電圧 DC20V 以上、耐電流 10mA 以上の部品を使用して下さい。

線材のループ抵抗は 100Ω 以内（0.4φ の電線で長さ約 300m 以下）で配線して下さい。

R 部の抵抗値は 1kΩ ±20% の範囲、許容電力 1/4W 以上の物を使用して下さい。

### その他

本件に関するお問い合わせは、技術課までお願いいたします。

問合せ先

東栄電気工業株式会社・狭山事業所・技術課

電話：04-2950-0711 FAX：04-2950-0715